

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東京都認証保育所ミッキーハウスほいく園
活動日時	令和7年3月28日(金)
クラス名(年齢)	ぱんだ・きりん組 2・3才児合同保育
年間テーマ	絵本の世界

1, 活動テーマ<テーマ>

ごっこ遊びで

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

興味がある絵本が決まったので、絵本に子どもたちが触れ合えるようにしたりする

2, 活動スケジュール

- ・ごっこ遊びで、みせ屋さん役とお客役に分かれる。子どもたちと話し合って「いらっしゃいませ」「ラーメンください」「ごちそうさま」の言葉で伝えることが大事だと伝える。
- ・うさぎ組さん(1歳児)がお客さん役で参加する。

3, 環境をデザインする。

(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

読み聞かせしながら2・3才児の興味がありそうな絵本を選ぶ。

4, 探求活動の実践

<活動内容>

- ・絵本を見返す
- ・劇ごっこへ子どもを誘導していき、自分がなりなたい役になっておもしろさ、楽しさを感じさせていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

問いを考える

(あれ、なんだろう、なにしてる、きれいだね、ふしぎだねときいてみる)

子どもの言葉・姿	写真
ーおみせやさん役とお客さん役に分かれてー ・「いらっしゃい」と声は小さいが、役になりきっていた。 ・お客役の子どもが「ラーメンください」といった。 ・おみせやさん役の子どもは自分たちで作ったラーメンの具を容器から入れていた。 ・入れる時は緊張気味の様子だった。 ーうさぎ組のお客さんにはー ・前にならんだお客さんに「いらっしゃい」と声をだしていた。 ・ラーメンの具をのせる役は一所懸命だった。	 

5, 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・今回のすくわくプログラムで絵本を選ぶことを子どもたちが数冊から選び、できる限り子どもたちが、主体性を持たせていきたいというねらいを実現していくことに重きをおいた。
- そして、子どもたちがそれぞれ興味もちがうので絵本を選ぶ所から難しかったが、子どものいきいきとした姿をみることで、大人も一緒になって楽しく過ごせた。
- 又、刺激にもなり、子ども達にも感謝の気持ちでいっぱいです。